

# 新型コロナウイルス感染症対策の最前線

新型コロナウイルス感染症は、自治の現場のありようにも課題を投げかけています。

自治の現場では、2009年に流行した「新型インフルエンザ」を踏まえ制定された「新型インフルエンザ等対策特別措置法」や感染症法に基づき、都道府県と市町村の役割が定められ、これに基づき対応が行われています。

今回は、8月20日（金）、21日（土）に開催される第35回の自治体学会・川崎大会に先立つプレ大会として、地方自治論や行政学等の第一線の研究者とともに、現場で感染症対策に向き合う実務家を交えながら、政府間関係や法律の枠組み、そして新型コロナウイルス感染症の現場対応について議論し、今後の取組について考えていきます。

今回のイベントは『どなたでも』『無料』で参加いただけます。

◎日時 令和3年5月29日(土)午後2時から5時

◎場所 ZOOMによるオンライン方式

◎会費 無料

◎定員 150名

◎参加方法 こくちーずによる申し込み（詳細は裏面参照）

◎プログラム（企画趣旨、プロフィールは裏面参照）

## 第1部

実行委員長挨拶 山口道昭さん（立正大学法学部教授）

基調報告① 「新型コロナウイルス感染症対策における国・都道府県・市町村」  
磯崎初仁さん（中央大学法学部教授）

基調報告② 「新型コロナウイルス感染症対策と保健医療行政」  
伊関友伸さん（城西大学経営学部教授）

## 第2部

事例報告① 「新型コロナウイルス感染症対策に取り組む都道府県の現場」  
篠原仙一さん（神奈川県医療危機対策本部室長）

事例報告② 「新型コロナウイルス感染症対策に取り組む市町村の現場」  
坂元昇さん（川崎市健康福祉局医務監・川崎市立看護短期大学長）

パネル討論 コーディネーター 谷本有美子さん（法政大学社会学部准教授）  
パネリスト 磯崎初仁さん・伊関友伸さん  
篠原仙一さん・坂元昇さん

◎後援：川崎市（予定）



磯崎初仁さん



伊関友伸さん



坂元昇さん

問合せ先：自治体学会川崎大会・プレ大会等実行委員会事務局

川崎市総務企画局地方分権担当 鈴木

TEL 044-200-2475

E-Mail：[2021kawasakijichi@gmail.com](mailto:2021kawasakijichi@gmail.com) ※ 問い合わせはメールでお願いします。

## ◎参加方法

次のこくちーずのURL 又はQR コードから名前、メール、所属を登録してください。

<https://kokucheese.com/event/index/608295/>

こくちーずでの登録ができない場合は事務局のメールに同様の内容を返送してください（2021kawasakijichi@gmail.com）。

申込多数の場合で参加いただけない場合のみメールします。また、開催日の3日前（5月26日（水））を目途に登録されたメールにZOOMのミーティングコード等をお送りします。また、当日の資料のダウンロード方法等も連絡します。



## ◎企画趣旨

新型コロナウイルス感染症については、2度にわたる緊急事態宣言が発出され、現在も、市民の暮らしに大きな影響を与え続けています。この間、感染拡大を抑制し、市民の命と暮らしを守るために、国と都道府県、市町村、医療機関が連携して、それぞれの役割を果たしてきました。具体的には、国が法制度や対処方針などを所管する一方、実際の対策の多くは、地方自治体、とりわけ、対策の中心である保健所とともに、医療機関といった「現場」が担ってきました。

今回のイベントでは、ワクチン接種が本格化していく状況にある中で、対策の最前線である「現場」の状況や課題を持ち寄り、医療・保健行政における感染症対策の枠組を俯瞰しながら、国と自治体の役割分担のあり方や、今後の対応の方向性について議論していきます。

## ◎プロフィール

**磯崎初仁さん** 東京大学法学部卒業。1985年から2002年まで神奈川県庁に勤務、土地利用規制、介護保険、市町村合併等を担当。2002年4月より現職。自治体学会評議員、地方行政実務学会副理事長。専門は、地方自治論、行政学。

**伊関友伸さん** 1987年、埼玉県庁に入庁し、県立病院課、精神保健総合医療センター等に勤務。2004年に城西大学経営学部准教授に転じ、現在に至る。研究分野は行政学、保健・医療・福祉のマネジメント。近著は『人口減少地域消滅時代の自治体病院経営改革』（ぎょうせい）。

**坂元昇さん** 1982年大阪大学医学部博士課程修了、大阪大学医学部助手、仏・リヨン神経病院臨床研修、山口大学医学部助教授、ニューヨーク大学医学部勤務、ファイザー社臨床開発統括部長、川崎市役所入庁、専門・災害時保健医療制度。

**谷本有美子さん** 法政大学大学院社会科学部政治学専攻修士課程修了。博士（公共政策学）。専門は行政学・地方自治。北区職員、東京財団リサーチフェロー、(公社)神奈川県地方自治研究センター研究員などを経て、2020年4月より現職。著書『「地方自治の責任部局」の研究 - その存続メカニズムと軌跡 [1947-2000]』（公人の友社、2019年）ほか。

